



神奈川大学附属高等学校

エジプト米DNA研究チーム

神奈川県横浜市緑区台村町800

エジプト米のルーツ解明を手掛かりとした高温障害対策イネの開発



第14回高校生バイオサミットin鶴岡
鶴岡メタボロームキャンパスにて

私たちは、エジプトで栽培されている短粒米のルーツを特定することを目標として活動しています。とある文献から、エジプトで栽培されている短粒米のルーツは日本米（後にYabaniと命名）であることが分かりました。そこで、Yabani系統と日本の1980年代のイネをDNA分析により特定し、ルーツ解明に努めています。

近年、温暖化の影響によるイネの高温障害が問題になっています。私たちは、Yabani系統の特定により気温が高いエジプトでの品種改良の研究を温暖化が進む日本での今後の研究に活かすことで、イネの高温障害の克服に繋がると考えました。また、日本のコメが不作となった際、日本人の好むエジプトの短粒米を逆輸入することができると考えました。予測不可能な時代に突入する現在、食糧危機対策として少しでも社会に貢献できればと思い、今後も研究を続けていきます。